

2024 年度 産学官・会員校代表者等交流会 プログラム

テーマ 「今、大学がなすべきことは何か
－社会が求める能力の育成－」



一般財団法人 全国大学実務教育協会
Japan Association of University and College for Business Education

【開催主旨】

昨年度の産学官・会員校代表者等交流会は、当協会の設立50周年記念行事の一環として講演会を開催しました。講演会のテーマは「Society5.0に向けた大学の人材育成への期待」とし、文部科学省高等教育局企画官（併）高等教育企画課高等教育政策室高見英樹室長に「大学の人材育成に期待すること」と題してご講演いただき、また日本経済団体連合会のSDGs本部池田三知子本部長には「Society5.0に向けた大学教育と採用に対する考え方」と題してご講演いただきました。

ご講演内容は、『Society5.0で求められる能力と資質は、①リテラシー、②論理的思考力と規範的判断力、③課題発見・解決力と未来社会の構想・設計力、④高度専門職に必要な知識と能力であり、これらの能力の基礎にはリベラルアーツ教育が重要。また社会人のリカレント教育・学び直しも重要になる。』と言う大変有益な内容でした。

今年度の産学官・会員校代表者等交流会は、18歳人口の減少によって2040年に私立大学のうち170校が消滅すると言う試算の中で、文部科学省高等教育局大学教育・入試課長補佐山田研市氏から高等教育政策の動向についてご講演いただきます。また産業界からは、昨年度の経団連池田三知子本部長のご講演内容を更に具体的に、経団連及び東京経営者協会会員企業である株式会社毎日新聞社取締役常務執行役員 砂間裕之氏から「企業が大学に期待することー企業が求める大学教育及び学生ー」と題してご講演いただきます。

また、今年度はパネルディスカッション形式で意見交換を行います。パネラーには、大学、短大の理事長、学長先生および大学教育の企画・マーケティングコンサルティング会社の3名の方々にご登壇いただきます。

この産学官・会員校代表者等交流会が皆様の教育及び経営にお役に立つことを願っております。

【プログラム】

テーマ：「今、大学がなすべきことは何かー社会が求める能力の育成ー」		
日 時：2024年12月13日（金） 14：30～17：00		
会 場：アルカディア市ヶ谷 6階 伊吹（Zoom 同時配信）		
総司会 福井 洋子（学校法人大手前学園副理事長・大手前短期大学学長、当協会理事）		
14：30	開会挨拶	福井 洋子
	会長挨拶	森 征一（慶応大学名誉教授 当協会会長・代表理事）
◆基調講演①（30分）		
14：35	「高等教育政策の動向について」	山田 研市氏 文部科学省高等教育局大学教育・入試課 課長補佐
◆基調講演②（30分）		
15：10	「企業が大学に期待することー企業が求める大学教育及び学生ー」	砂間 裕之氏 株式会社毎日新聞社取締役常務執行役員
休憩 10 分間		
◆パネルディスカッション（60分）		
15：50	〈パネラー〉 ・山下 研一 氏 株式会社シンクアップ専務取締役 ・平野 光俊 氏 大手前大学 学長 ・富田 敬子 氏 常磐大学・常磐短期大学 学長	コーディネーター 清水 一彦 松本大学・松商短期大学学長 当協会副会長・代表理事
17：00	閉会挨拶 終了	福井 洋子

☆懇親会☆ 17:10～18:30 （会場）7階 白山

『講演』

- ① **文部科学省 高等教育局大学教育・入試課
課長補佐 山田 研市 氏**
「高等教育政策の動向について」



- ② **株式会社毎日新聞社
取締役常務執行役員 砂間 裕之 氏**
「企業が大学に期待すること
ー企業が求める大学教育・学生ー」



1985年、毎日新聞社入社。大津支局、奈良支局、大阪本社社会部などで、主に医療をテーマにした調査報道や文化財報道などに携わった。その後、大阪、東京両本社の人事部長や大阪本社社会部長、大阪、東京の編集局長を歴任。その間、戦後60年報道や戦後70年報道に取り組んだ。執行役員編集編成担当を経て、現在は取締役常務執行役員。埼玉県出身。

『パネルディスカッション』

- ◎ **司会 清水 一彦**
当協会代表理事・副会長、松本大学・松商短期大学 学長

- ◇ **株式会社シンクアップ
専務取締役 山下 研一 氏**



東京大学農学部農業生物学科卒業。企画会社「クリエイトハウス」経営を経て、学校法人聖学院で広報センター所長、広報局長を歴任。退職後2017年にAIの動向から統計教育とデータサイエンス教育の重要性に着目し、「新しい構想に基づく大学の創設」を目的に株式会社シンクアップを共同創業。学校広報および学生募集のコンサルティングを行う。2011年より学校広報ソーシャルメディア活用勉強会（通称 GKB48）事務局長。

- ◇ **大手前大学
学長 平野 光俊 氏**



早稲田大学卒業。神戸大学大学院博士課程 修了。博士（経営学）。神戸大学教授を経て大手前大学副学長。2022年4月より現職。神戸大学名誉教授。経営行動科学学会会長、日本労務学会副会長など歴任。企業との共同研究の実績多数。労働政策審議会委員などの活動を通して労働政策の立案にも関わってきた。専攻は人的資源管理論、組織の中の人間行動論。

- ◇ **常磐大学・常磐短期大学
学長 富田 敬子 氏**



東京女子大学文理学部社会学科卒業。米国 Georgetown University 大学院人口学修士課程修了。米国 Fordham University 大学院社会学博士課程修了。1988年、ニューヨークの国連経済社会分析局入局。バンコクの国連アジア太平洋地域経済社会委員会勤務を経て、2009年よりニューヨークの国連経済社会局統計部次長を務めた。2019年4月より現職。併せて国連国際人口移動統計専門家グループメンバー、総務省統計委員会委員、茨城県教育委員会委員。

協会の発足と使命

協会が発足した1973年のころ、まだ実務教育のことが話題にもならなかった当時、社会で活躍できる実務の素養と人間力を備えた能力開発に着目し、大学・短期大学における秘書教育課程を開発して、資格を授与することになりました。こうして本協会前身の全国短期大学秘書教育協会が始まりました。続いて、情報処理教育課程、ビジネス実務教育課程などを開発し、資格を授与してきました。

協会の事業方針

- 本協会は、実務教育・キャリア教育はどうあるべきかを問い続けその実践をリードし、もって大学・短期大学教育の質的転換に貢献します。
- 本協会は、対話を通して産学官民との連携を密にし、社会の変化に対応し、社会を創る人材育成に取組みます。
- 本協会は、実務教育・キャリア教育に関わる認定事業の質保証を図るために導入した評価制度を推進します。
- 本協会は、大学・短期大学における能動的学修をリードする教員及び実務家教員の教育力養成並びに教学マネジメント養成を推進します。

その後、協会の名称を全国大学実務教育協会と変更し、時代の要請や社会のニーズを捉えて、実務教育に関わる数多くの教育課程を開発し、資格を授与することとなりました。以来、初期のめざしてきた方向、つまり社会的に役立つ人間力を備えた実務教育の資格授与、実務教育研究の推進、大学・短期大学における実務教育の在り方を追求することを本協会の使命として堅持しています。

本協会が捉える「実務力」とは

どのような職業に就いて働く場合でも私たちは様々な実務を担って責任を果たしています。実務力とは、特定の知識・技能だけを意味するのではなく、自分の持てる力を活かして結果を出す人間力を含む総合的実践力が実務力の中核であると捉えています。

協会のめざす実務教育とは

本協会の実務教育とは、「実社会を知り、自分を知る」を基軸におく人間力をベースに、実務を推進する総合的実践力を基本において育成をはかるものです。この幅広い実務実践力は失敗や成功を伴う体験学修を重ね、自ら獲得していくものであると捉えて、本協会の種々の資格教育課程を提案しています。

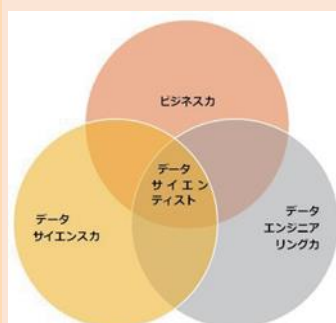
資格教育課程の質保証方法とは

一人ひとりの資格教育課程の修了者の質保証をはかるには、大学における単位認定結果(GPA等)に加えて、学修者自身による資格到達目標達成度評価結果(学びの自己評価と継続課題等)の明確化が求められます。この質保証の考え方のもと、2023年度より本協会は、資格到達目標達成度評価制度を導入し、新たな評価方法(協会独自のものまたは大学オリジナルなもの)を順次導入していきます。

公的機関、企業、各種法人が求める課題に対応する能力が修得できる資格

データサイエンス・AI 実務パスポート

データサイエンスやAIを活用するための基礎知識を有し、実務を適切に実践できることを目指します



文部科学省の認定制度「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」(リテラシーレベル)の学修目標に沿って当協会が独自に設定した能力基準に基づいています。

・この資格を活かせる業務…作業時間を短縮したい、手順を簡素化したいなどの課題を解決するために、作業の流れや作業時間のデータを分析、解決して改善することができます。情報社会において、対象となる課題を発見・分析し、客観的に捉え、創造的に解決する能力が社会のために役立ちます。

・開発する能力…情報社会における情報の知識、情報社会において情報を収集・分析する基本技能、課題発見力・分析力・表現力と共有化の技能など



一般財団法人 全国大学実務教育協会
Japan Association of University and College for Business Education

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-2-12 第三東郷パークビル二階

TEL : 03-5226-7288

FAX : 03-3263-8633

E-mail : jaucb@jaucb.gr.jp

URL : <https://www.jaucb.gr.jp>

